

## 道徳科学習指導案

日 時 令和8年2月5日(木)  
第5校時 13:30~14:20  
学校名 杉並区立泉南中学校  
対 象 第3学年A組 37名  
会 場 2階第3学年A組教室  
授業者 教諭 新倉 拓未

### 1 主題名 いじめの爪痕 C「公正、公平、社会正義」

### 2 ねらいと教材

- (1) ねらい T子さんへのひどい仕打ちや一戸さんの後悔から正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接しようとする道徳的実践意欲と態度を育む。
- (2) 教材 「卒業文集最後の二行」(東京書籍 「新しい道徳3」)

### 3 主題設定の理由

「正義と公正さを重んじる」ということは、正しいと信じることを積極的に実践し、私利私欲を排して行動することである。そのためには正しさを認識し、適切な行為を判断し、実践することが求められる。ただ、その「認識、判断、実践」という3段階において人は得てして弱い心に流されたり、同調圧力に屈したりしてしまうことが多い。正しさを認識しつつも判断が鈍ったり、判断ができて実践に移す勇気がなかったり、という弱さが見られるのが人間という生き物である。だからこそ、弱さに負けずに正義と公正さに基づいて行動しようとする姿勢のうつくしさが際立つのである。

「誰に対しても公平に接する」ためには、偏ったものの見方や考え方を避けるよう努めることが求められる。好き嫌いは感情であるため、全くなくすることはできないが、それに囚われないように自身の言動を律することはできる。自分と同様に他者も尊重し、誰に対しても分け隔てない言動を心掛けようとする姿勢こそが差別や偏見のない社会の実現につながっていくと考える。

### 4 生徒の実態

3年A組の生徒は、周りの雰囲気を感じ、その場に合った適切な行動を取ることができる生徒が多い。そのため、近くの生徒と自然に協力して物事に取り組むことができる場面がしばしば見られる。クラスの状況を生かしつつ、自然に自分の意見を伝えられる雰囲気をつくり、活発な交流ができるような生徒主体の授業展開を心掛けたい。好き嫌いで判断せず、他者を平等に受け入れようとする学年の雰囲気が「公正、公平、社会正義」の視点において価値のあるものであることに気付かせ、生徒一人一人の自尊感情を高めながらよりよい学年の雰囲気を醸成するためのきっかけとなるようにしたい。

### 5 人権教育の視点

いじめという行為が与える影響について考える活動を通して、公正・公平に他者と接しようとする態度を育てる。

## 6 本時の展開

### (1) 本時の展開

段階	○学習活動 ・予想される生徒の反応	人権教育に関わる留意点等
導入 (10分)	<p>○公正・公平に接するとは具体的にどのようなことを指すか考えさせる。</p> <p>【発問】公正・公平に人と接するとは、具体的にどのような言動を指しますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・差別せず、誰にでも同じように接すること。</li> <li>・他人の嫌がることをしない。</li> <li>・誰かのためを思って行動すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主題となる内容項目に関する問いを初めに提示することで、現段階での生徒の認識を確認する。</li> </ul>
展開 (30分)	<p>○教材の範読を聞き、発問について考える。</p> <p>【発問】一戸さんがT子さんをいじめていた背景には、どのような思いがあるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みすぼらしい様子を非難することで、自分とは違うということを示したい。</li> <li>・担任の先生に言いつけないので、何を言ってもいいと調子に乗っている。</li> <li>・自分より下である人間に強く当たることで、優越感を得たいという思い。</li> </ul> <p>【発問】一戸さんが、30余年が過ぎた現在でもなお、涙をこぼしてしまうのはどうしてでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・T子さんが辛い思いをしていた様子を読み、今でも苦しくなってしまうから。</li> <li>・成長し、自分の行動の卑劣さ、自分の心の弱さや醜さを理解できるようになったから。</li> <li>・人を傷つけた経験は、自分の中の汚点として心に留まり続けてしまうから。</li> </ul> <p>【発問】「あの二行を読まなかったら、現在の私はどうなっていたであろう」とあるが、T子さんの卒業文集を読んだことにより、一戸さんはどのように変わったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他人の立場を想像することを心がけるようになった。</li> <li>・いじめは誰のためにもならないと理解した。</li> <li>・自身の心の弱さを理解し、同じ過ちを繰り返さないと誓っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめという行動の背景にある見方や考え方について考察し、偏見や差別の根底にある人間の特性について考えを深めさせる。</li> <li>・この具体例を通して、人間の本質について考えるよう促す。</li> <li>・長い時間を経ても後悔は消すことができないため、安易な言動が自分にとっても相手にとっても大きな傷として残り続けることの重みについて考えさせる。</li> <li>・公正、公平に他者と関わることの価値について考えさせることで、全ての人が分け隔てなく扱われることで初めて人権は尊重されるという価値観について考えを深めさせる。</li> </ul>
終末 (10分)	<p>○授業を振り返り、他者との関わり方について感じたことや考えたことをまとめる。</p>	